

校正

Proofreading Note

87th Ko-nan printing in Kanuma city



2021.5

No.79



売れる広告・デザイン 販促商社 栃木県フロンティア認証企業

晃南印刷株式会社



デザインプロジェクト

DIC アルファ

企業PR支援事業

Design and Information for marketing and Communication

□本 社・工 場：栃木県鹿沼市緑町3-8-33 TEL(0289)62-4141代
□編集スタッフ：【デザイン部】校正担当/中里（内線 301）制作/佐藤（内線 303）

読み分け

入る

いる・はいる

いる

「念の入った話」「堂に入った演技」「有卦に入る・悦に入る・鬼籍に入る・興に入る」「郷に入っては郷に従え」「微に入り細を穿つ」「病膏背に入る」

はいる

「（捜査の）手が入る」「年季が入った技」「穴があったら入りたい」

有為

うい・ゆうい

うい

仏教で、因果関係によってこの世に生じたり滅したりする、すべての存在や現象。「有為の奥山（＝無常の現世を深山にたとえる）」

ゆうい

才能があること。世の中の役に立つこと。「有為の人材」

大事

おおごと・だいじ

おおごと

「大事になる／ならない」「大事だ」

だいじ

「大事に至る／至らない」「大事ない」



開山

かいさん・かいざん

かいさん

寺や宗門を創始すること。

かいざん

それまで禁じていた登山・入山をその年初めて許可すること。



汚す

けがす・よごす

けがす

対象が抽象的な概念のとき「誇り【品位・家名】を汚す」「へりくだった言い方の場合「末席を汚す」「お耳を汚す」

よごす

「お耳汚し・お口汚し・お目汚し」



注ぐ

そそぐ・つぐ

そそぐ

別のものが入った容器に液体を入れる場合。「茶碗にご飯を入れて出汁を注ぐ」「カップラーメンにお湯を注ぐ」

つぐ

空の容器の場合、〈液体を流し入れる〉の意に重きをおいて「そそぐ」と読む。特に酒の場合に多く、「お酒を注いで回る」「主人が手すから酒を注いだ」などは「つぐ」と読む。

薪

まき・たきぎ

まき

「薪ストーブ」「薪を割る（＝薪割り）」「薪をくべる」

たきぎ

「薪能」「山に薪を採りに行く」「薪を集める【拾う】」自然に手に入る「薪」は「たきぎ」と読むことが多い。



類

たぐい・るい

たぐい

名詞を並立させて例として示すような場合。「妖怪や魍魎魍魎の類」「手相、タロットなどの類」

るい

「ヒトという類」など生物学の分類をいう場合。「類を見ない」「他に類がない（＝唯一無二だ）」



破れ

やぶれ・やれ

やぶれ

「衣服の破れを繕う」「破れ障子」

やれ

「破れ団扇」「破れ紙（やれし：印刷で刷り損なった紙）」



利益

りえき・りやく

りえき

「莫大な利益を得る」「地元の利益を考える」

りやく

仏・菩薩などが人々に功德を授けること「衆生を利益する」「御利益がある」

